

記者配布資料  
令和5年10月20日  
秘書課

## 令和5年度 県民表彰受賞者一覧

部門	氏名	年齢	主要経歴等	現住所
地方自治	いわきり ひでお 岩切 秀雄	81	前 薩摩川内市長 元 鹿児島県市長会副会長	薩摩川内市
教育文化スポーツ	みしま もりたけ 三島 盛武	79	前 鹿児島県文化芸術振興審議会会長 現 鹿児島純心女子短期大学名誉教授	鹿児島市
保健福祉	のむら ひでひろ 野村 秀洋	80	元 鹿児島県医師会副会長 現 (公財) 慈愛会いづろ今村病院 名誉院長	鹿児島市
産業経済	きはら すみのぶ 木原 純信	87	元 鹿児島県川辺仏壇協同組合理事長 現 (有) 木原製作所取締役会長	南九州市
	くぼ しげよし 久保 茂吉	77	前 鹿児島県農業協同組合中央会会長 元 かごしま中央農業協同組合 代表理事組合長	鹿児島市

※年齢は令和5年11月2日現在

※令和5年度県民表彰式開催日時・場所

11月2日(木) 午前11時～ 議会庁舎6階本会議場

# 岩切 秀雄 氏 (満81歳/薩摩川内市)

## ● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和38年4月～平成12年3月	川内市事務吏員
平成12年4月～平成19年3月	川内市助役 (平成16年11月～薩摩川内市)
平成19年4月～平成20年7月	薩摩川内市副市長
平成20年11月～令和2年11月	薩摩川内市長
平成30年2月～令和2年11月	鹿児島県市長会副会長
平成22年6月～平成23年6月	全国市長会理事
平成26年6月～平成27年6月	同上
平成29年6月～平成30年6月	全国市長会行政委員会副委員長
平成29年6月～平成30年6月	全国市長会評議員
令和元年6月～令和2年6月	同上
令和元年6月～令和2年6月	全国市長会監事
平成20年11月～平成26年5月	全国原子力発電所所在市町村協議会副会長
平成20年11月～令和2年11月	川内川改修促進期成会副会長
平成20年11月～令和2年11月	鹿児島県電源地域連絡協議会会長
平成20年11月～令和2年11月	鹿児島県市町村街路事業促進協議会会長
平成20年12月～令和2年11月	鹿児島県後期高齢者医療連合連合長
平成21年7月～令和2年11月	鹿児島県水難救済会副会長
令和元年7月～令和2年11月	九州地方電源地域連絡協議会会長

## ● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成17年2月	総務大臣表彰 (市町村合併功労)
平成30年12月	常熟市荣誉市民表彰 (中国 常熟市人民政府)
令和元年7月	国土交通大臣表彰 (河川事業関係功労)
令和3年11月	旭日小綬章 (地方自治功労)
令和4年1月	薩摩川内市市民表彰 (地方自治部門)

## ● 主な功績

### 〈概要〉

- ・ 昭和38年4月に川内市に奉職し、同市及び薩摩川内市の助役、副市長を経て、平成20年11月、多くの地域住民の支持を受け、薩摩川内市長に就任。以来、3期12年の長きにわたり市勢の発展と住民福祉の向上に大きく貢献。

### 〈個別〉

- ・ 安全・安心なまちづくりのため、防災行政無線戸別受信機を全世帯へ設置し、平成26年には、住民の防災意識を高める防災教育訓練施設である「災害研修センター」を併設した新しい消防庁舎の整備に取り組むとともに、平成30年には、放射線防護施設と一時避難所の機能も兼ね備えた災害発生時等の防災拠点となる「薩摩川内市総合防災センター」を整備するなど、様々な事象を想定し、迅速に対応できる体制の構築に尽力。
- ・ 平成23年の東日本大震災における福島第一原子力発電所事故により、原子力発電所を取り巻く環境が激変する中、住民の代表者である議会の意見を尊重しながら、原子力規制委員会において新規規制基準に適合するとされた川内原子力発電所の再稼働を進める政府の方針に同意するなど、エネルギー施策の推進に尽力。
- ・ 平成23年の九州新幹線全線開業を好機と捉え、甑島観光の目玉とするため「観光船かのこ」及び「高速船甑島」の新船運航を開始するとともに、平成25年には「株式会社薩摩川内市観光物産協会」を設立し、観光の産業化に向けた体制づくりを構築。  
加えて、コンベンション機能を核とした複合施設「SSプラザせんだい」を整備し、人・技術・情報等の交流による産業、観光などの経済活動の活性化に尽力。
- ・ 子育てしやすい環境づくりのため、平成22年に県内他市町村に先んじて中学校修了までの医療費を無料化する「子ども医療費助成事業」を開始し、平成28年にはその対象を県内で初めて高等学校修了年齢にまで拡充したほか、平成31年には「薩摩川内市第3子以降妊娠祝金」を支給する制度を創設するなど、子育て支援の推進に大きく貢献。

## 三島 盛武 氏 (満79歳/鹿児島市)

### ● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和47年4月～昭和48年3月	鹿児島純心女子短期大学家政科助手
昭和48年4月～昭和51年3月	鹿児島純心女子短期大学家政科専任講師
昭和50年4月～平成2年3月	ラ・サール高等学校非常勤講師
昭和51年4月～昭和62年3月	鹿児島純心女子短期大学家政科助教授
昭和62年4月～平成31年3月	鹿児島純心女子短期大学生活学科教授
平成5年4月～平成9年3月	ラ・サール高等学校非常勤講師
平成25年4月～平成31年3月	鹿児島純心女子短期大学図書館長
令和2年3月～現在	鹿児島純心女子短期大学名誉教授
昭和63年～平成16年	「文芸かごしま」編集委員
平成5年8月～平成9年11月	かごしま近代文学館資料収集検討委員会委員
平成8年1月～令和3年1月	九州芸術祭文学賞選考委員
平成14年6月～令和5年5月	鹿児島県文化芸術振興審議会委員
平成27年6月～令和5年5月	鹿児島県文化芸術振興審議会会長
平成16年6月～令和4年5月	薩摩川内市川内まごころ文学館運営協議会委員
平成26年6月～令和4年5月	薩摩川内市川内まごころ文学館運営協議会会長
平成16年10月～現在	鹿児島県マレーシア友好協会副会長
平成26年4月～令和5年3月	一般財団法人鹿児島市国際交流財団理事 (平成27年4月～公益財団法人鹿児島市国際交流財団)

### ● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成17年7月	全国専修学校各種学校総連合会会長感謝状
平成22年9月	文部科学大臣表彰 (短期大学教育功労)
平成27年11月	霧島市民表彰

## ● 主な功績

### 〈概要〉

- ・ 鹿児島純心女子短期大学の教員として長きにわたり近代日本文学、郷土文学を専門に研究するとともに、鹿児島県文化芸術振興審議会会長等の要職を歴任するなど、本県の文化芸術の振興や国際交流の促進に大きく貢献。

### 〈個別〉

- ・ 昭和47年に鹿児島純心女子短期大学家政科に着任し、令和2年3月から同大学名誉教授として、長きにわたり文芸振興及び人材育成に尽力。  
特に、鹿児島ゆかりの作家である島尾敏雄氏の研究に取り組み、令和4年には、同氏の講義録をまとめた『身近に見た島尾敏雄先生』を上梓するなど精力的に活動。
- ・ 昭和63年から平成16年にかけては、県教育委員会が発行していた「文芸かごしま」の編集委員として、熱心に評論活動に取り組んだ。芥川賞の登竜門と称される「九州芸術祭文学賞」の鹿児島地区の選考委員を務め、本県における優れた作品や若い才能の発掘に貢献。
- ・ 幅広い知識や高度な知見を有する学識者として、平成14年から令和5年まで鹿児島県文化芸術振興審議会委員を務め、特に平成27年から令和5年にかけては会長として、本県における文化行政の基盤である鹿児島県文化芸術振興条例の改正や文化芸術推進基本計画の策定等に係る議論を主導し、本県の文化芸術振興施策の推進・充実に大きく貢献。
- ・ 平成16年からは鹿児島県マレーシア友好協会副会長として、本県とマレーシアにおける民間交流に携わっており、鹿児島市が実施する国際交流事業において、マレーシアへの訪問団の団長等を務めたほか、霧島市国際交流協会の青少年派遣事業においては、派遣団のコーディネーターを務めるなど、本県の国際交流の促進に尽力。

# 野村 秀洋 氏 (満80歳/鹿児島市)

## ● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和45年 8 月～昭和49年 3 月	鹿児島大学医学部第一外科
昭和49年 4 月～昭和49年 9 月	南風病院外科部長
昭和49年10月～昭和51年 3 月	鹿児島大学医学部第一外科
昭和51年 4 月～昭和56年 6 月	鹿児島大学医学部第一外科文部教官助手
昭和57年 7 月～昭和57年 6 月	鹿児島県立大島病院外科部長
昭和56年 7 月～昭和58年 4 月	鹿児島大学医学部第一外科文部教官助手
昭和58年 5 月～昭和62年 2 月	鹿児島大学医学部第一外科文部教官兼任講師
昭和62年 3 月～昭和63年 4 月	鹿児島大学医学部第一外科文部教官専任講師
昭和63年 5 月～平成 2 年 5 月	財団法人慈愛会今村病院
平成 2 年 6 月～平成26年 3 月	財団法人慈愛会今村病院院長 (平成23年 4 月～公益財団法人慈愛会今村病院)
平成26年 4 月～現在	公益財団法人慈愛会今村病院名誉院長 (平成29年 6 月～公益財団法人慈愛会いづろ今村病院)
平成30年 4 月～現在	公益財団法人慈愛会介護老人保健施設愛と結の街施設長
平成 8 年 4 月～平成14年 7 月	社団法人鹿児島市医師会理事
平成16年 4 月～平成24年 3 月	社団法人鹿児島県医師会常任理事
平成24年 4 月～令和 4 年 6 月	社団法人鹿児島県医師会副会長 (平成25年 4 月～公益社団法人鹿児島県医師会)
平成22年 4 月～令和 4 年 6 月	社団法人日本医師会代議員 (平成25年 4 月～公益社団法人日本医師会)
平成 3 年 6 月～平成19年 5 月	鹿児島県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
平成19年 6 月～令和元年 5 月	鹿児島県国民健康保険診療報酬審査委員会会長
令和元年 6 月～現在	鹿児島県国民健康保険診療報酬審査委員会委員

## ● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成18年10月	厚生労働大臣表彰 (国民健康保険関係功労)
平成25年11月	日本医師会優功賞
令和 4 年11月	日本医師会最高優功賞
令和 4 年11月	旭日双光章 (保健衛生功労)

## ● 主な功績

### 〈概要〉

- ・ 昭和45年に鹿児島大学医学部第一外科に入局後、長年におたり医療活動に従事するとともに、鹿児島県医師会副会長等の要職を歴任し、本県地域医療の発展・向上に大きく貢献。

### 〈個別〉

- ・ 平成16年から始まった臨床研修制度により、多くの初期臨床研修医が県外に流出したことを受け、県内の若手医師を確保するため、県、鹿児島大学、県医師会及び基幹型臨床研修病院が一体となって研修医確保に取り組む「鹿児島県初期臨床研修連絡協議会」の設置に尽力。
- ・ 県医師会における研修医確保対策では、医療機関や企業等から寄付を募り、平成21年の鹿児島県医師会医師不足対策基金の創設に貢献したほか、平成26年の県医師会医師・助産師・看護師不足対策基金「はやぶさプラン」、令和2年の「はやぶさプランⅡ」の設置に貢献。

医師確保の体制整備のみならず、基幹型臨床研修病院である公益財団法人慈愛会今村総合病院において、研修医の育成に自ら取り組むなど、本県の医師確保・育成に大きく貢献。
- ・ 災害医療においては、平成19年の県と県医師会の「災害時の医療救護活動に関する協定」の締結や平成21年の「鹿児島県災害医療救護計画」の策定などに尽力するとともに、東日本大震災や熊本地震では、県医師会における「日本医師会災害医療チーム（JMAT）」の編成や派遣に携わるなど、災害復興のための支援活動に貢献。

医療関係団体（県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会）との「災害時の医療救護活動における協定書」の締結に尽力するなど、本県の災害医療体制の強化にも多大な貢献を果たした。

# 木原 純信 氏 (満87歳/南九州市)

## ● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和26年4月～昭和32年8月	有限会社木原金属工芸社
昭和32年9月～昭和48年9月	木原製作所開業
昭和48年10月～平成17年9月	有限会社木原製作所代表取締役
平成17年9月～現在	有限会社木原製作所取締役会長
昭和36年4月～昭和38年3月	鹿児島県川辺仏壇協同組合監事
平成4年4月～平成15年5月	鹿児島県川辺仏壇協同組合理事長
平成15年5月～平成28年5月	鹿児島県川辺仏壇協同組合顧問
昭和47年4月～昭和57年3月	川辺仏壇伝統工芸士会専務補佐
昭和53年4月～平成5年5月	川辺仏壇金具協同組合理事長
昭和53年4月～平成元年5月	鹿児島産機団地協同組合理事
昭和57年4月～昭和59年3月	川辺町商工会監事
昭和60年4月～昭和62年3月	川辺町商工会理事
昭和62年5月～平成10年3月	鹿児島県金型治工具工業会副会長
平成4年4月～平成15年5月	鹿児島県中小企業団体中央会理事
平成4年4月～平成15年5月	社団法人鹿児島県特産品協会理事
平成4年4月～平成15年5月	南薩地域地場産業理事

## ● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成元年5月	鹿児島県商工会連合会会長表彰 (地域経済振興功労)
平成2年10月	九州通商産業局長表彰 (伝統的工芸品産業振興功労)
平成6年11月	新ふるさと特産品コンクール工芸部門特賞
平成8年5月	鹿児島県中小企業団体中央会会長表彰 (組合役員功労)
平成10年9月	九州中小企業団体中央会会長表彰 (組合役員功労)
平成11年5月	鹿児島県知事表彰 (組合役員功労)
平成14年11月	鹿児島県知事表彰 (優秀技能者)
平成17年4月	瑞宝単光章 (伝統工芸業務功労)
令和元年5月	第66回県美展優秀賞 (工芸部門)



## ● 主な功績

### 〈概要〉

- ・ 経済産業大臣指定伝統的工芸品である川辺仏壇の職人として精励しながら、鹿児島県川辺仏壇協同組合理事長をはじめ、川辺仏壇金具協同組合理事長や鹿児島県金型治工具工業会副会長等の要職を歴任するなど、長年にわたり川辺仏壇産地の振興及び仏壇業界の発展に大きく貢献。

### 〈個別〉

- ・ 川辺仏壇の製造工程7工程のうち「金具」の製造に携わり、仏壇金具師として、昔から引き継がれた伝統技法を守りつつ、手打ち金具や地彫金具、彫金鍛金等に拘り、その技法の特性を十分に生かした仏壇・宗教用具類の製作に尽力し、製作の技能において卓越した技術を発揮し、昭和52年に川辺仏壇伝統工芸士に認定。
- ・ 仏壇用金具の製作技術を生かし、付加価値の高い神輿用の金具製作技法を確立し、全国に販路を持つ。その技能は高く評価され、平成14年には本県の優秀技能者として知事表彰を受賞したほか、数多くの受賞を果たし、川辺仏壇の需要喚起の一助として、その普及拡大に努めた功績は大きい。
- ・ 川辺仏壇の振興事業の一環として、彫金技術研修会（金具部門）や職業訓練校金属工芸科技術研修会（金具部門）において講師を務めたほか、内弟子12名を仏壇金具職人（産地後継者）として育成するなど、産地振興の最大の課題である後継者の指導育成にも貢献。
- ・ 現代様式に沿ったデザイン開発を得意とし、仏壇金具のみならず、金具製造技術を応用した工芸品や装飾品等の開発にも意欲的に取り組み、平成2年には、自ら経営する工場の敷地に薩摩彫金「C u A r t（キューアート）」を設立。酒器や茶筒、小皿、シルバーアクセサリなど数々の彫金商品を手がけ、自社販売のほかイベントやECサイトでの販売を展開するとともに、消費者を対象にしたワークショップや体験会を開催するなど、彫金への理解促進にも注力。

# 久保 茂吉 氏 (満77歳/鹿児島市)

## ● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和63年 5 月～現在	農業
平成 7 年 5 月～平成15年 5 月	鹿児島中央農業協同組合理事
平成15年 5 月～平成21年 2 月	鹿児島中央農業協同組合代表理事組合長
平成21年 3 月～平成26年 6 月	かごしま中央農業協同組合代表理事組合長
平成26年 6 月～平成30年 2 月	かごしま中央農業協同組合会長理事
平成30年 3 月～令和元年 5 月	鹿児島みらい農業協同組合理事
平成23年 6 月～平成26年 6 月	鹿児島中央畜産農業協同組合連合会会長
平成23年 6 月～平成26年 6 月	鹿児島県農業協同組合中央会副会長
平成26年 6 月～平成29年 6 月	鹿児島県農業協同組合中央会会長
平成23年 6 月～平成26年 6 月	鹿児島県厚生農業協同組合連合会経営管理委員
平成26年 6 月～平成29年 6 月	鹿児島県厚生農業協同組合連合会経営管理委員会会長
平成23年 6 月～平成29年 6 月	鹿児島県信用農業協同組合連合会経営管理委員
平成23年 6 月～平成29年 6 月	鹿児島県経済農業協同組合連合会経営管理委員
平成23年 6 月～平成26年 6 月	全国共済農業協同組合連合会鹿児島県本部運営委員
平成26年 6 月～平成29年 6 月	全国共済農業協同組合連合会鹿児島県本部運営委員会会長
平成26年 7 月～平成29年 7 月	全国共済農業協同組合連合会経営管理委員
平成 9 年 4 月～平成16年 4 月	鹿児島市農業委員会委員
令和元年 5 月～現在	鹿児島市農地利用最適化推進委員

## ● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成26年 3 月	農業協同組合功労表彰 (緑綬)
平成30年 3 月	農業協同組合特別功労表彰 (紅綬)
令和 2 年11月	旭日双光章 (農業振興功労)

## ● 主な功績

### 〈概要〉

- ・ 鹿児島県農業協同組合中央会会長や鹿児島県厚生農業協同組合連合会経営管理委員会会長等の要職を歴任するなど、長年にわたり本県の農業振興に大きく貢献。

### 〈個別〉

- ・ 早くから「鹿児島市1 J A構想」を掲げ、市内5組合の合併に向けて奔走。平成15年に鹿児島中央農業協同組合理事組合長就任時には、かごしま農業協同組合との合併に尽力し、平成21年にかごしま中央農業協同組合を設立し、合併後は同組合の代表理事組合長として、組合員の信頼と負託に応えその重責を果たした。平成26年からは会長理事として同組合を支え、グリーン鹿児島農業協同組合及び東部農業協同組合との合併を後押し。平成30年に鹿児島みらい農業協同組合を設立し、「鹿児島市1 J A」が実現したことは氏の功績によるところが大きい。
- ・ 組合員や組織の育成に力を注ぎ、平成25年に「青年部活動強化プラン」の一環として、青年農家自らが経営分析・経営計画の策定などを行う「農業経営者塾」を新たに開塾するとともに、同年、「J A女性組織活性化プラン～心ひとつに～」を策定、平成27年には「J Aフレッシュミズ鹿児島」を発足させ、地域を越えた若い世代の活動をスタート。
- ・ J Aグループ鹿児島と鹿児島県商工会連合会との関係強化を図り、地域経済の基盤整備や農商工連携、6次産業化に取り組むことで地域の新たな事業機会の創出に繋げることを目指し、平成28年に鹿児島県商工会連合会との包括連携協定の締結に尽力。
- ・ 鹿児島県厚生連病院の新築移転整備等に携わり、県下全域をエリアとするJ Aグループ鹿児島の保健・医療の拠点機能及び施設の整備に尽力。鹿児島県厚生連機能・施設整備特別委員会及び同施設建設特別委員会においては、委員長として強いリーダーシップを発揮し、「予防から治療に至る一貫体制」の基本理念を体現した健診・診療一体型の新施設の開設に貢献。